

ミスミグループ本社 2019年3月期 第1四半期 連結業績

～ 売上高は四半期決算として過去最高を更新、成長投資拡大で減益 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2019年3月期 第1四半期（2018年4月1日～2018年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

| (百万円) | 2018年3月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 増減率 |
|-------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高 | 75,774 | 85,428 | +12.7% |
| のれん等償却前 営業利益 ※ | 10,606 | 9,183 | -13.4% |
| 営業利益 | 10,019 | 9,032 | -9.9% |
| 純利益 | 6,858 | 6,517 | -5.0% |
| 1株当たり純利益 | 24.69円 | 23.00円 | |

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

<2019年3月期第1四半期の連結業績ハイライト>

- 連結売上高は、VONA事業、FA事業の成長により四半期として過去最高を更新、対前年同期比12.7%（現地通貨ベース11.8%）の増収。一方で、成長加速に向けた投資が拡大し、四半期決算として過去最高額であった前年同期比で減益**
 - 当第1四半期における世界経済および日本経済は、通商問題に対する影響などの不透明感はあるものの、全体として緩やかな景気回復の動きが続きました。アメリカにおいては、雇用者数、設備投資などが緩やかに増加するなど景気の回復傾向が継続し、アジア各国および欧州においても緩やかな景気回復が続きました。また、日本では設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。一方、これまで旺盛な設備投資が続いてきた中国ではインフラ投資の減速の動きが見られるとともに通商問題の先行きの影響が懸念されています。
 - このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。
 - こうした体制強化等により、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの需要を取り込み、VONA事業では品揃えの強化などによって国内において大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長しました。

- こうした結果、連結売上高は 854 億円、前年同期比で 12.7%（現地通貨ベース+11.8%）の増収となり、四半期決算として、過去最高の売上高を更新しました。利益面につきましては、成長加速に向けた投資が拡大し、営業利益は 90 億円（前年同期比-9.9%）、経常利益は 91 億円（前年同期比-8.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は 65 億円（前年同期比-5.0%）となり、四半期決算として過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。

2. VONA事業は国内外で拡大、FA事業は引き続き自動化需要を捉え成長継続

- 2019年3月期第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

| | 売上高（百万円） | | 増減率 | |
|--------|-------------------|-------------------|--------|-------------|
| | 2018年3月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 円ベース | 現地通貨 ベース |
| FA事業 | 25,665 | 29,776 | +16.0% | +15.0% |
| 金型部品事業 | 19,698 | 19,474 | -1.1% | -1.8% |
| VONA事業 | 30,410 | 36,177 | +19.0% | +17.9% |
| 合計 | 75,774 | 85,428 | +12.7% | +11.8% |

- FA事業は、自動化需要を捉え、グローバルでQCT（高品質(Quality)、低コスト(Cost)、確実短納期(Time))を強化することにより、前年同期比 16.0%の増収となりました。
- 金型部品事業は、アジアにおける販売活動は好調だったものの、主要顧客である自動車関連業界の需要減などにより、前年同期比 1.1%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化などにより、国内の成長が持続したことに加え、中国、アジアの高成長も寄与し、前年同期比 19.0%の増収となりました。

3. 国内が堅調に推移、海外は、引き続きアジア・中国が成長を牽引

- 2019年3月期第1四半期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

| | 売上高（百万円） | | 増減率 | |
|-------|-------------------|-------------------|--------|-------------|
| | 2018年3月期 第1四半期 | 2019年3月期 第1四半期 | 円ベース | 現地通貨 ベース |
| 日本 | 38,744 | 42,743 | +10.3% | — |
| 海外 | 37,030 | 42,684 | +15.3% | +13.4% |
| 中国 | 14,637 | 15,951 | +9.0% | +4.9% |
| アジア | 10,470 | 14,275 | +36.3% | +35.9% |
| アメリカ | 6,978 | 6,850 | -1.8% | -0.6% |
| ヨーロッパ | 3,691 | 4,352 | +17.9% | +13.7% |
| その他 | 1,252 | 1,253 | +0.1% | +1.0% |

- 日本では、自動化需要の取り込みやVONA事業での販売拡大などに努めた結果、前年同期比 10.3%の増収となりました。
- 海外では、特にアジア・中国での自動化需要の取り込みが寄与して、前年同期比 15.3%の増収となりました。

4. 2019年3月期連結業績は売上・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し
- 2019年3月期の通期連結業績予想については、2018年5月10日公表の業績予想からの変更はありません。

2019年3月期 連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 純利益 | 1株当たり 純利益 |
|------|---------|--------|--------|--------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 通期予想 | 361,000 | 39,700 | 39,500 | 28,500 | 100.60 |
| 前期実績 | 312,969 | 34,848 | 34,679 | 25,601 | 91.01 |
| 増減 | +15.3% | +13.9% | +13.9% | +11.3% | — |

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2019年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2019年3月期第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

| |
|---|
| <p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014 mail : cc@misumi.co.jp</p> |
|---|